



左 / 保存緑地は地元の小学生たちの環境学習の場にもなっている



右 / 住民団体による緑地の保全活動



地区のシンボリック存在の船橋日大前駅東口駅舎



上 / 積極的に宅地緑化したまちなみ  
下左 / 雨水循環を取り入れた散水用ポンプ  
下右 / 太陽光発電を行うソーラーパネル住宅が並ぶ



## ニュータウン事業

# 水と緑の環境軸を形成した「環境共生型のまちづくり」

「……船橋美し学園芽吹の杜 千葉県船橋市……」  
「みんなでつくる環境共生のまち」をビジョンに、まちづくりが行われてきた坪井地区。住民の方々の管理によって緑の継承が進められています。

### 地区の原風景の保全と再生を目指して

坪井地区は船橋美し学園芽吹の杜の中心部から約7.5km東方に位置する住宅地。平成5年に船橋市が環境共生モデル都市エゴシヤに指定されたことを受け、「水」と「緑」に恵まれた環境資産を生かしたまちづくりを進めてきました。



地区概要(船橋美し学園 芽吹の杜)	
事業名称	坪井特定土地区画整理事業
所在地	千葉県船橋市坪井町 他
事業期間	平成9年2月～平成23年3月(清算期間含む)
地区面積	65.4ha
計画人口	約7,200人
計画戸数	約2,300戸

コンセプトは、「みんなでつくる環境共生のまち」。地区の恵まれた自然との触れ合いを通じて、人と人との交流を育み、緑豊かな快適で美しい都市形成を行っています。

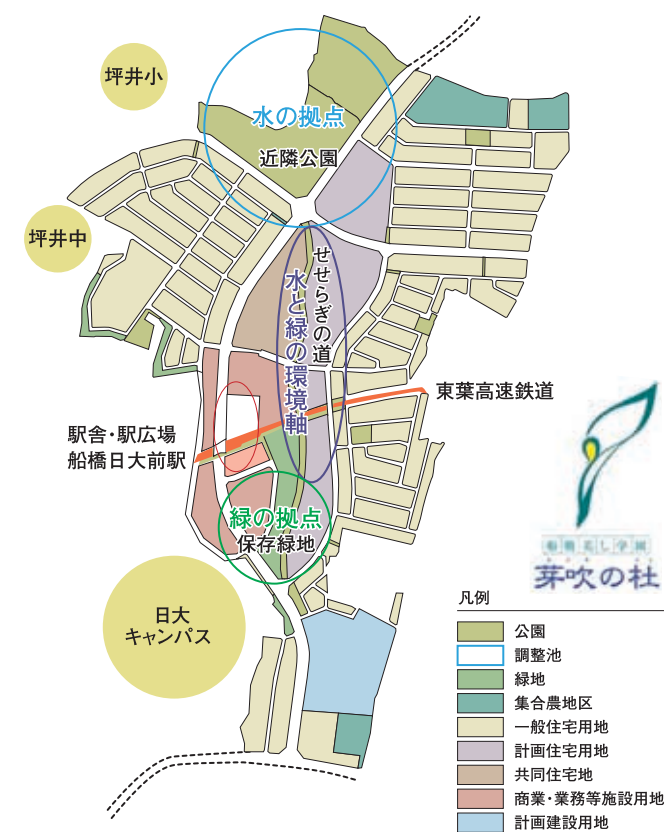
地区の北部に位置する坪井近隣公園を「水の拠点」とし、園内の調整池を単なる雨水流出入の調整機能だけでなく、ピオトープ化して公園なじむよう整備。また、南部に位置す

### 自然と共存するための住環境づくりを推進

まちのシンボリック存在である東葉高速鉄道「船橋日大前駅」の駅舎は、レンガや木材などの自然素材を最大限に活用。また、駅前広場では既存樹木を移植したり、焼却灰を再生したブロックを使用するなど、環境共生に配慮しました。

また、宅地内では、ソーラーパネル住宅の建設、散水用雨水ポンプの設置など、環境技術の導入を誘導するとともに、緑化や生垣の採用により緑豊かなまちなみを形成するなど、美しく個性ある住環境づくりにも取り組んでいます。

### 水と緑のネットワーク形成とゾーニング



旧坪井川の流れを再生したせせらぎ

この維持管理は、船橋市が主体となっており、地域住民の方々と連携で行われています。

### 「環境共生への取り組みで「緑の都市賞」を受賞

さらに、NPO「コミュニティ・アソシエーション美しい街住まい倶楽部」の設立により、住宅事業者や地域住民の方々が中心となって、美しい環境共生のまちづくりの推進が行われています。

水と緑のネットワーク形成や緑化率35%の目標設定、郷土林の保全・移植、雨水循環の導入、省エネ・リサイクル品の利用、保存緑地での環境学習会実施など、地球環境時代を先導すべく、人と自然が共生するまちづくりを行ってきた船橋美し学園

この緑豊かな環境を舞台に、安全・安心はもとより、世代を超えた人と人との交流、緑地の保全、自然との触れ合いにあふれた、快適かつ美しいまちづくりを今後もサポートしていきたいと考えています。